

みちぶしん “道普請”

土木
未来

自分達の道は自分達で守る！（協働による環境整備）

安全・快適な道路環境を整備するため、地域住民が主体となり、「玖珠山国線」の支障木伐採作業が行われました。
当地区では、平成23年度から同様の作業が行われており、地域と行政が一体となった取組みが評価され、今回の作業へ繋がっています。

実施日：平成28年12月3日（土） 8:30～16:00
実施場所：県道玖珠山国線 玖珠町大字古後

玖珠山国線は玖珠郡玖珠町と中津市山国町を結ぶ主要地方道であり、沿線には国指定名勝耶馬溪の代表的景観「立羽田の景」が存在するなど、地域住民の日常生活から県内外の観光客の往来に至るまで様々な交通需要に供されています。しかしながら、線形不良や幅員狭小といった未改良区間が多く存在し、観光客や路線バスの通行に支障をきたしています。対策としては、交通の障害となり凍結の原因でもある支障木の伐採が有効です。
古後地区道路期成会から、「道路改良要望活動だけでなく自分達で出来ることは取り組みたい。」と提案があり、樹木所有者との調整と伐採を期成会、交通誘導は土木事務所の役割分担で実施しました。

作業状況



土木事務所は交通誘導のお手伝い！

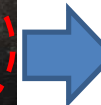
【作業前ミーティング】朝早くからチェンソー持参で集合。高齢の方が多いですが皆さん現役で準備万端です。



支障木の伐採は期成会の方々がチェンソーで伐採。休む間もなく次々と伐採していきます。



作業後の状況



支障木が無くなり、快適な道路空間が確保されました

皆さん、お疲れ様でした！
“道普請”を引き続きお願いします！